

進路だより



第4号 令和7年10月8日発行
静岡県立浜松みをつくし特別支援学校
進路指導課

今回の進路だよりでは高等部、中学部での進路学習を紹介します。高等部卒業後に向かってどのように進んでいくか中学部、小学部のうちからイメージするための参考にしてみてください。

高等部の取り組み

高等部1年生：6月に職場見学に行き、働くことや進路について学習しました。その後、夏休み等を利用して保護者と本人が福祉事業所見学や企業フェア等の説明会に参加し、1月に行われる職場実習先の希望を生徒自身が考えて決めていきます。

※職場実習とは実際に企業や福祉事業所で活動をさせていただき、進路や必要な力を学ぶ学習です。

アマノ株式会社 細江事業所(企業)	合同会社ワークセンター湖畔 湖畔西気賀 (B型事業所)	細江あすなろ作業所 (生活介護)
		

働くためには長い時間働く体力が必要なことや決められた時刻までに自分で準備をして移動する力、分からないことを自分から聞くことや働きたいという意欲が大切だということ学びました。また、時間内に決められたやり方で作業をしたり、注意を素直に聞ける力、周りの方と一緒に同じ活動に取り組んだりする力も大切だと学びました。

高等部2年生：6月と10月に職場実習を行います。

高等部3年生：5月と9月に職場実習を行います。その後、卒業後の進路を決めていきます。

高等部3年間の「作業学習」や「職業」等での学習を通して、働くために必要な力を学んでいきます。

※高等部職場実習報告会もありますので、ぜひご参加ください。

中学部の取り組み

中学部3年生の学習では、高等部卒業後は自分で進路を選択していくことを学びました。

天竜福祉工場 (A型事業所)	天竜厚生会 みのり (B型事業所)
 	 

高齢者施設からタオルやシーツを回収し、クリーニングする仕事やミシンで雑巾を縫う仕事などを見ることができました。クリーニング体験では、タオルの文字が表面になるように、1人10枚たたみ、仕事の流れを体験することができました。

職員の方へのインタビューでは、タオルに汚れやほつれがないかを確認することに気を付けていたり、工場の扉が開いた状態のため、季節によって気温の変化に対応したりすることが大変なことだと知りました。

カインズ 浜松都田テクノ店



店内とバックヤードの見学をして、どのような仕事をしているのかを学びました。商品を出したり、並べたりする仕事、レジや案内の仕事をしている店員さんを探して、見つけることができました。

店員さんへのインタビューでは、バックヤードや品出しの責任者の方の話を聞き、お客様や従業員とコミュニケーションをとることが大切だということを学びました。真剣に話を聞いて、メモをとる姿が見られました。

※**中学部 2 年生**は 12 月に職場見学に行きます。

今後の予定・進路情報

進路講演会を予定しています。ぜひご参加ください。

高等部 2 年生職場実習報告会	10 月 29 日 (水) 9:20~9:50
高等部 1 年生職場実習報告会	1 月 30 日 (金) 午前中
第 2 回進路講演会	12 月 11 日 (木) 10:00~11:10 「働くために大切な力や卒業後の生活の変化について」 くらしえん、しごとえん 鈴木修氏 ・卒業後に向けて身につけておきたい力 ・卒業後の生活の変化と対応 ・保護者の心構えや家庭で取り組むこと ※コクーで後日、参加の希望をとります。

就労選択支援事業について

令和 7 年 10 月から「**就労選択支援サービス**」という新しい就労系福祉サービスが始まりました。

本人が就労先や働き方についてより良い選択ができるように就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択をアセスメントの専門家が支援するものです。

(学校の進路指導と合わせて第三者の目線で本人の適性等をアドバイスしてくれるものです。)

高等部卒業後に就労継続支援 B 型、就労継続支援 A 型で働きたい生徒はこのサービスを利用することが原則となっています。その他にも自分の適性をアセスメントしてほしい、進路を選択するためにアドバイスがほしいといった希望のある場合に利用していくものです。利用期間は 1 か月程度でその間に面談や作業能力等を見てアセスメントをしていただき、結果を踏まえて本人が進路を選択する支援をしていくサービスです。

特別支援学校においては高等部在学中から複数回利用することが可能です。高等部の保護者には懇談会等で説明していきます。